



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月26日

上場会社名 本多通信工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6826 URL <http://www.honda-connectors.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐谷 紳一郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 堀井 達男 (TEL) 03-3714-1151  
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け )  
 (百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	7,000	△0.5	419	15.6	388	29.4	269	15.4
24年3月期第2四半期	7,034	△1.6	362	15.9	300	8.8	233	9.2

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 256百万円( 18.7%) 24年3月期第2四半期 216百万円( 0.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	22.31	—
24年3月期第2四半期	18.71	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	9,151	5,133	56.1
24年3月期	8,763	5,007	57.1

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 5,133百万円 24年3月期 5,007百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	7.00	7.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,000	△0.3	750	3.8	670	2.3	500	△11.2	41.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

昨今の景況および業績動向を踏まえ、売上高については、平成24年5月11日に公表しました15,000百万円を前年並みの14,000百万円に変更します。なお、利益・配当については当初予想に変更はありません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	12,503,100株	24年3月期	12,503,100株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	448,545株	24年3月期	304,195株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	12,095,812株	24年3月期2Q	12,499,027株

発行済株式数に関する注記

発行済株式数に関する注記平成24年5月22日公表の「自己株式の取得および自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)による自己株式の買付けに関するお知らせ」に基づき、第1四半期会計期間に自己株式を取得しました。

(表示方法の変更)

第1四半期連結会計期間より、作業くず売却益を営業外収益から売上原価のマイナスとする表示方法の変更を行っています。これに基づき、前年同四半期については遡及処理を行っています。  
 従って前年同四半期の営業利益は、322百万円から362百万円に変更しています。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算説明会内容の入手方法について)

当社は、平成24年10月29日(月)に機関投資家及びアナリスト向け四半期決算説明会を開催する予定です。この説明会の資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要などのプラス要因もありましたが、欧州債務危機や中国経済の減速、円高の長期化による輸出減退など、厳しい状況が続いています。

このような状況の中で、創業80周年を迎えた本年は、中期経営計画(平成22年度～平成24年度)「Plan80」の最終年度にあたり、当社グループでは「新と改でPlan80完遂」を基本方針に掲げ、「自助努力」と「パナソニック株式会社との協業」により活力ある”Segments No.1企業”となるために以下の重点施策に取り組んできました。

- a 「新」での増販(売り先を増やす、売るモノを拡げる、売り方を変える)
- b ものづくり革新(国内:多品種少量コンビニ拠点、海外:中量品一気通貫拠点の仕上げ)
- c シゴトの仕方改革(業務ロスの徹底排除)
- d 次代への取組み(将来へ向けた戦略投資、人財育成)

その結果、当第2四半期連結累計期間は、産業用分野が減販したものの、「新」の車載分野が伸長し、情報システム分野も堅調に推移したことから、売上は7,000百万円(前年同四半期比0.5%減)とほぼ前年並みを確保しました。一方、収益面では、販売ポートフォリオの変化により収益性が低下する中、合理化施策の積極展開や減価償却負担の軽減が寄与し、営業利益419百万円(同15.6%増)、経常利益388百万円(同29.4%増)、四半期純利益は269百万円(同15.4%増)と二桁の増益となりました。下期以降も新商品開発・増産・合理化投資を積極的に展開し、体質強化・次代への取組みを加速します。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## (資産)

当第2四半期連結会計期間の総資産は9,151百万円で、前連結会計年度末と比べ388百万円の増加となりました。これは、主に、本社底地(約400百万円)の取得によるものです。

## (負債)

負債は4,017百万円で、前連結会計年度末と比べ261百万円の増加となりました。これは、短期借入金を300百万円返済した一方で、車載関連の生産増強に伴う支払債務等が増加したことによるものです。

## (純資産)

純資産は5,133百万円で、前連結会計年度末と比べ126百万円の増加となりました。これは利益剰余金が増加したことによるものです。

キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は599百万円(前年同四半期は227百万円)となりました。これは主に当期純利益、設備投資の拡大による債務・未払金の増加などによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は496百万円(前年同四半期は295百万円)となりました。これは主に本社底地の取得や設備投資によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は459百万円(前年同四半期は554百万円)となりました。これは借入金の返済、自己株式の取得、配当の支払によるものです。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は1,427百万円となり、前連結会計年度末に比べ340百万円減少しました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、昨今の景況および業績動向を踏まえ、売上高については平成24年5月11日に公表しました15,000百万円を前年並みの14,000百万円に変更します。なお、利益、配当については当初予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用につきましては、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しています。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響額は軽微です。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,118,747	1,731,645
受取手形及び売掛金	3,010,010	3,489,956
商品及び製品	536,565	625,758
原材料及び貯蔵品	495,707	486,850
仕掛品	351,841	306,646
その他	375,285	297,231
貸倒引当金	△5,512	△5,635
流動資産合計	6,882,645	6,932,454
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,397,164	2,402,663
減価償却累計額	△1,894,772	△1,912,211
減損損失累計額	△15,590	△15,590
建物及び構築物(純額)	486,802	474,861
工具、器具及び備品	16,344,695	13,523,198
減価償却累計額	△16,141,865	△13,325,201
減損損失累計額	△90,875	△51,052
工具、器具及び備品(純額)	111,954	146,945
機械装置及び運搬具	2,466,142	2,352,612
減価償却累計額	△2,090,523	△1,987,881
減損損失累計額	△4,859	△4,623
機械装置及び運搬具(純額)	370,760	360,107
土地	171,906	620,413
リース資産	165,143	147,881
減価償却累計額	△98,642	△88,406
リース資産(純額)	66,500	59,474
建設仮勘定	36,435	108,511
有形固定資産合計	1,244,360	1,770,312
無形固定資産		
リース資産	18,030	14,741
その他	83,857	71,663
無形固定資産合計	101,887	86,404
投資その他の資産		
その他	545,928	374,206
貸倒引当金	△11,304	△11,774
投資その他の資産合計	534,624	362,431
固定資産合計	1,880,872	2,219,149
資産合計	8,763,518	9,151,603

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,317,021	1,763,613
短期借入金	500,000	200,000
リース債務	46,225	34,541
未払法人税等	91,470	71,439
賞与引当金	184,574	217,236
役員賞与引当金	32,188	17,005
設備関係支払手形	78,453	103,904
その他	414,946	581,510
流動負債合計	2,664,881	2,989,252
固定負債		
リース債務	46,511	44,506
退職給付引当金	989,165	966,317
役員退職慰労引当金	20,283	—
その他	35,260	17,697
固定負債合計	1,091,221	1,028,521
負債合計	3,756,102	4,017,774
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,501,758	1,501,758
資本剰余金	1,508,950	1,508,950
利益剰余金	2,242,947	2,427,462
自己株式	△75,414	△120,595
株主資本合計	5,178,241	5,317,575
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24,379	△4,682
為替換算調整勘定	△195,205	△179,064
その他の包括利益累計額合計	△170,825	△183,746
純資産合計	5,007,415	5,133,829
負債純資産合計	8,763,518	9,151,603

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	7,034,651	7,000,830
売上原価	5,630,443	5,505,794
売上総利益	1,404,207	1,495,036
販売費及び一般管理費	1,041,435	1,075,613
営業利益	362,771	419,423
営業外収益		
受取利息	173	471
受取配当金	3,773	3,046
助成金収入	8,438	1,932
その他	6,114	16,269
営業外収益合計	18,500	21,720
営業外費用		
支払利息	10,913	7,928
為替差損	45,240	26,387
資金調達費用	24,655	8,458
その他	190	9,878
営業外費用合計	81,000	52,652
経常利益	300,271	388,490
特別利益		
固定資産売却益	259	69
投資有価証券売却益	2,438	845
子会社清算益	11,296	—
特別利益合計	13,994	914
特別損失		
固定資産除却損	477	2,465
事業構造改善費用	—	66,153
不具合対策費用	26,895	—
その他	488	17,414
特別損失合計	27,861	86,033
税金等調整前四半期純利益	286,404	303,372
法人税等	52,380	33,464
少数株主損益調整前四半期純利益	234,024	269,907
少数株主利益	132	—
四半期純利益	233,891	269,907
少数株主利益	132	—
少数株主損益調整前四半期純利益	234,024	269,907
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△19,127	△29,061
為替換算調整勘定	1,607	16,141
その他の包括利益合計	△17,519	△12,920
四半期包括利益	216,504	256,986
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	216,372	256,986
少数株主に係る四半期包括利益	132	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	286,404	303,372
減価償却費	266,771	186,808
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△87	593
受取利息及び受取配当金	△3,947	△3,518
支払利息	10,913	7,928
有形固定資産除売却損益(△は益)	217	2,396
売上債権の増減額(△は増加)	△119,289	△479,946
たな卸資産の増減額(△は増加)	△158,748	△35,140
仕入債務の増減額(△は減少)	103,250	446,592
賞与引当金の増減額(△は減少)	24,696	32,662
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1,750	△20,283
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	6,794	△15,183
退職給付引当金の増減額(△は減少)	1,581	△22,848
投資有価証券評価損益(△は益)	—	10,659
有価証券及び投資有価証券売却損益(△は益)	△2,438	△842
事業構造改善費用	—	18,688
未払金の増減額(△は減少)	13,429	102,208
その他の資産の増減額(△は増加)	△39,577	54,938
その他の負債の増減額(△は減少)	△88,128	62,011
小計	303,595	651,096
利息及び配当金の受取額	4,420	3,613
利息の支払額	△11,151	△7,971
法人税等の支払額	△69,774	△47,619
営業活動によるキャッシュ・フロー	227,090	599,119
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△200,838	△659,528
有形固定資産の売却による収入	81	150
投資有価証券の取得による支出	△2,325	△2,287
投資有価証券の売却による収入	18,785	57,650
貸付金の回収による収入	5,181	3,013
定期預金の預入による支出	△197,709	△127,144
定期預金の払戻による収入	37,973	173,576
子会社株式の取得による支出	△1,256	—
その他	44,367	57,706
投資活動によるキャッシュ・フロー	△295,740	△496,864

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	90,000	△300,000
長期借入金の返済による支出	△504,008	—
社債の償還による支出	△55,500	—
自己株式の取得による支出	—	△45,410
配当金の支払額	△49,996	△85,392
その他	△34,556	△28,317
財務活動によるキャッシュ・フロー	△554,060	△459,120
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,607	16,195
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△621,102	△340,669
現金及び現金同等物の期首残高	2,140,587	1,767,681
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,519,485	1,427,011

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。